

第二十号（令和七年十月）

伊藤ひろし活動報告

（自民党総裁選、小林候補の応援結果）

挑戦で拓く、新しい日本　日本を世界の真ん中に！！

『十月四日開票の結果、四位に終わる』

同世代への期待

私は党改革について「原点回歸」と「世代交代」の二つを掲げ、同世代でもある小林鷹之候補の応援をしました。

県内党員投票の結果

千葉県の党員投票総数は、一万七六三七票、小林候補は、県内投票第二位（四五八五票）で、地元千葉県でも一位を獲得できず、とても悔しい想いです。一位は、高市候補（六四三八票）、決選投票に進んだ小泉候補は、第三位（四〇六一票）でした。

三つの未来像

小林鷹之候補が総裁選で訴えた、日本の未来像・政策（要旨）を紹介させていただきます。

一、力強く成長するニッポン

科学技術大国への再生による、強い経済を作り、技術と経済で防衛力を上げ、経済と防衛力を裏付けに外交力を高める。また、子育て世代も含めた現役世代が自由に使えるお金を増やすための税制改革を行う。

二、自らの手で守り抜くニッポン

わが国の抑止力を高めていくために国家完全保障戦略を改定する、防衛費の引き上げも行う。食料自給率の向上を目指し、農家の所得向上や米・小麦・大豆・トウモロコシを含め、生産量を拡大する政策を行う。

三、結束するニッポン

目指すべきは、分断でなく調和の社会。

真面目に働く外国人のためにも、外国人政策を嚴格化する。また、外資による土地買収規制や入国審査を強化する。

【お伝えしたいこと】

小林鷹之衆議院議員の目指す日本未来像が、国民・党員にも、まだまだ伝わりきれていない感覚にあります。同世代の同志として、政策広報室長のつもりで、次期総裁就任に向けて、引き続き応援して参ります。